

～「ある親子のそだちの物語」からあらためて自身の日々の保育・療育を振り返る～

2024年10月6日（日）北星学園大学にて

「親子のそだちの物語」 発表者 野島 彩

1. 自己紹介
2. 私の従来の障がい観と息子の診断
3. 私の障がい観の変化
4. 私の障がいの理解とは
5. 息子への支援の過程
6. 失敗に対する私の捉え方
7. 私の手記より「書き出し」
8. 私の手記より「生時のエピソードと併せて感覚についての話」
9. 私の手記より「感覚統合の『前庭覚』と息子の乳児期のエピソード」
10. 私の手記より「感覚統合の『固有覚』と息子の乳児期のエピソード」
11. 私の手記より「感覚統合の『触覚』と息子の乳児期のエピソード」
12. 私の手記より『身体排除』と息子の乳児期のエピソード」
13. 私の手記より「幼稚園の副園長先生との出会い」
14. 私の手記より「家庭でどんなことをしていたか」
15. 私の手記より「『公園』という場所がどのように支援につながったか」
16. 私の手記より「療育」
17. 私の手記より「小学校入学から卒業まで」
18. 嬉しかったこと、悲しい気持ちになったこと
19. 息子の中学3年生の受験と現在について
20. そしてつい最近のこと